



↓犠牲者へ哀悼の誠をささげ、手を合わせる木村副知事（左）



あ の日思い重ねる 豪雨から2年 令和2年7月豪雨犠牲者追悼献花

令和2年7月豪雨犠牲者へ哀悼の誠をささげるため、7月4日(月)、平国上地区の被災地に献花台が設けられました。参列者は花を手向け、静かに手を合わせました。献花には、木村敬副知事も訪れ、「犠牲者の思いを忘れることなく、県と町が協力し、創造的復興と被災者の住まいの再建に全力で取り組んでいく」と話していました。

↓各店舗こだわりの鰻料理を味わってみてはいかがでしょうか



旬^{きんはも}の金鰻を町内の飲食店で つなぎ金鰻フェア

7月23日(土)から「つなぎ金鰻フェア」が町内飲食店などの5店舗で始まりました。この時期は産卵に向けて栄養を蓄えるため身が厚く、不知火海で獲れた鰻は「金鰻」と呼ばれています。各店で金鰻の天ぷらや湯引きなどこだわりの鰻料理を提供。酒を取り扱う店では、亀萬酒造の日本酒と共に鰻料理が味わえます。詳しくは9ページをご覧ください。

明 るい社会を目指して 社会を明るくする運動

7月1日(金)、本町の保護司が水光社津奈木店で街頭啓発活動を行いました。店を訪れた人に除菌シートやチラシなどを配布し、安全で安心な地域社会づくりの必要性を呼びかけました。これは、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。町内の小中学校から標語を募集し、選ばれた作品を掲載した看板を各所に設置しています。



↑来店者に除菌シートやチラシなどを配りました

作 って学ぶ、ふるさとの味 スローフード料理講習会

7月21日(木)、農業就業改善センターでスローフード料理講習会が開かれました。今回のテーマは、「夏野菜を生かす」。森の新聞社の森千鶴子さんと寺島悠さんの指導のもと、ナスやトマト、ゴーヤなどを使い、本漬けや梅酢豚などを作りました。完成した料理は、夏野菜のうまみが口の中に広がり、さっぱりとしながらも深みのある味に仕上がりました。



↑森さん（左）の指導で調理する参加者

↓狙いを定めて投げる参加者



健 康のための新たな取り組み 第1回「公式ワナゲ」大会

6月28日(火)、B&G体育館で、「公式ワナゲ」大会が社会福祉協議会と老人クラブ連合会主催のもと開かれました。「公式ワナゲ」は、輪投げを競技化したもので、体も頭も使うニュースポーツです。参加した牛迫キヌエさん（大泊）は「私たちにとって運動と同じくらい笑うことも大切です。この大会は楽しく運動できるいい機会でした」と話していました。

↓表彰を受けた野崎さんと新立さん（前列左から3人目と4人目）



地 域の防犯に貢献 熊本県防犯協会連合会表彰

6月28日(火)、水俣警察署で新立豊さん（大泊）と野崎慶司さん（平国下）が熊本県防犯協会連合会の功労者として表彰を受けました。2人は水俣地区少年補導員として活動するほか、街頭補導活動などに積極的に参加。つなぎろっぽうパトロール隊の中心として、地域の防犯や青少年の非行防止・健全育成に大きく貢献しました。



海 渡りの制作風景を映像作品に マイクロシネマコンテスト

6月10日(金)、赤崎漁村センターで現代アーティストの五十嵐靖晃による作品《海渡り》制作映像の上映会が開かれました。昨年、赤崎地区の住民などと共に制作した《海渡り》の様子を映像作品にしたもの。同作はマイクロシネマコンテストで佳作に選ばれました。ことしの《海渡り》は9月23日(金)に制作予定です。右のQRコードから映像が見られます。



↑美しい映像に何度も鑑賞する住民

艇 庫改修に970万円の助成金 B&G海洋センター修繕助成決定書授与式

6月28日(火)、B&G海洋センター艇庫の修繕助成決定書が、B&G財団常務理事の古山透さんから町長に渡されました。町では、外壁の全面改修とシャッターの取り替え工事を計画しており、工事費1,299万円のうち、財団が970万円を助成。海洋教育の促進、住民の健康・コミュニティづくりの拠点として、さらなる利用者の拡大を目指します。



↑修繕助成決定書を渡した古山常務理事（左から2人目）